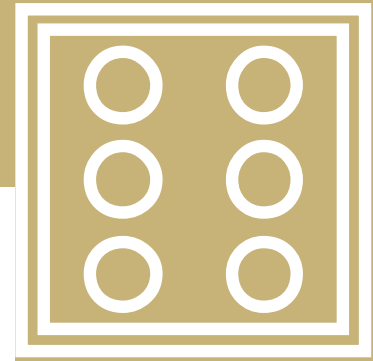


機械を扱うだけじゃない！

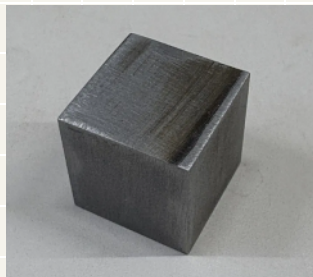
「手仕上げ」 感性を磨く――



サイコロ編

1 材料に角材を用意。

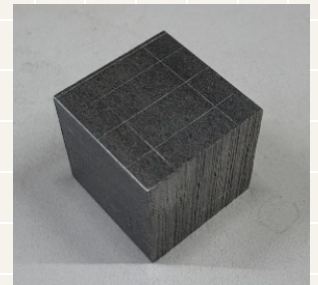
角柱を高速切断機でサイコロ用の大きさ、立方体に材料を切り出す。



材料どりは後の工程に影響が出る重要な最初の加工である。

2 けがき

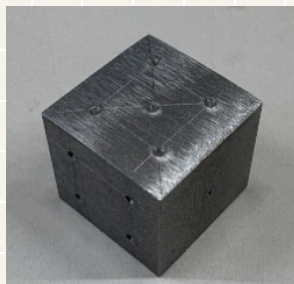
サイコロの目を作成するための目印を打つ位置を割りだす作業。正確さが問われる。



製品の精度や品質を左右する工程。

3 ポンチ

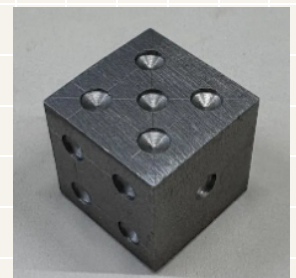
穴を開ける際にドリルをあてるガイドを、ポンチ・ハンマーを使って打っておく。



ドリル先端の負担軽減にもなる。

4 穴あけ

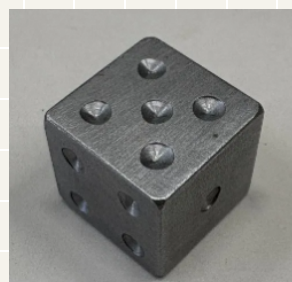
ボール盤を使って、6面それぞれに穴をあける。均等な深さと大きさになることが重要。



自分の手で操作。集中力が問われる。

5 磨き

サンドペーパーや、金属用のやすりを使って、けずる、磨く。光沢が出ることで品質も良くなる。



実は一番大変な作業で重要度も高い。角を面取りして作品を完成させる。

★ 魅力

一つ一つの工程を人の手で行うことによって、より細部まで丁寧な仕上がりを実現できる。素材やデザインに合わせた柔軟な対応や、高い品質の維持、そして、唯一無二の個性を生み出すことができる。

これは機械には実現できない。